

令和6年台風第10号 台風説明会

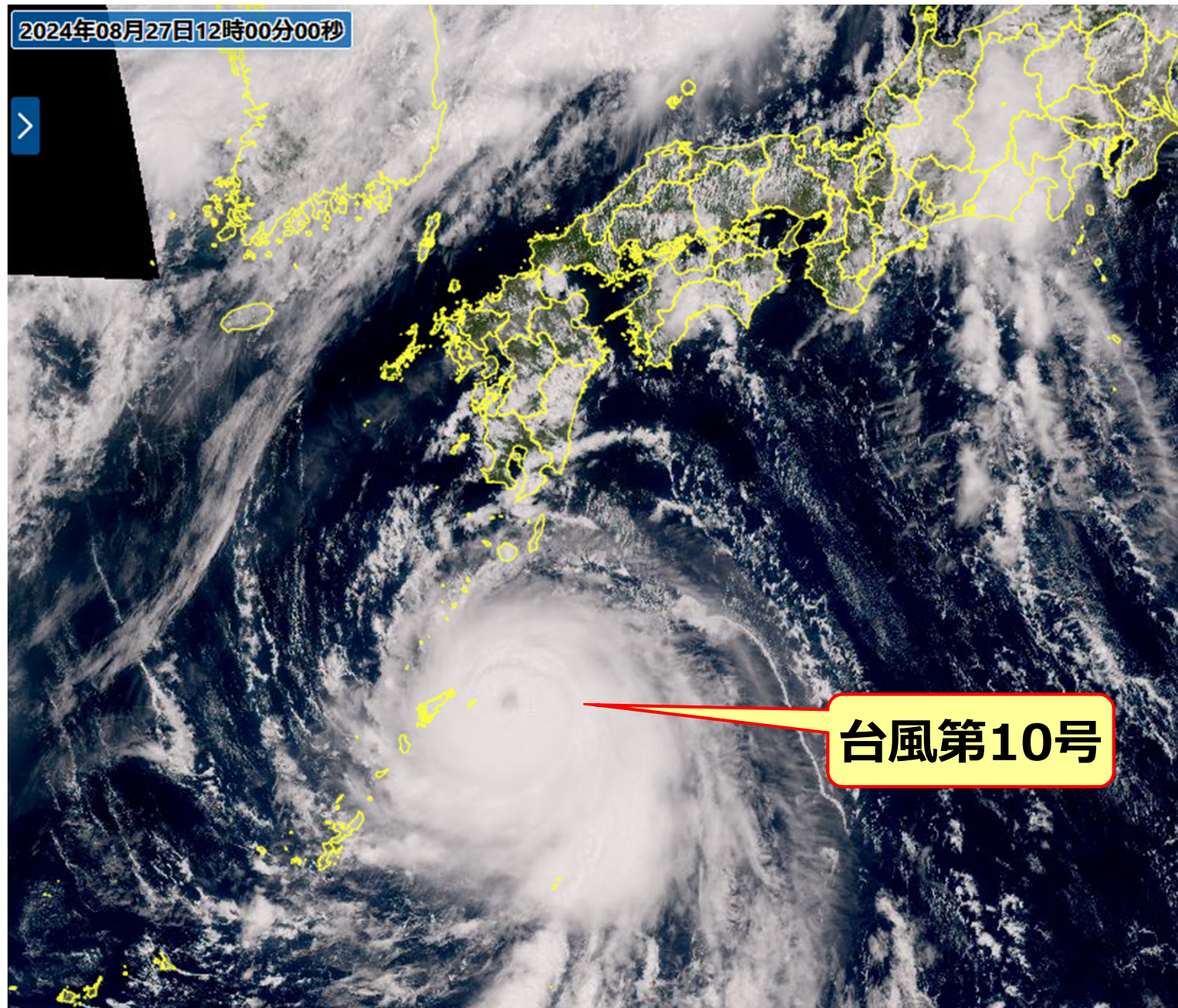
令和6年8月27日（火曜日） 14：00から

松山地方気象台

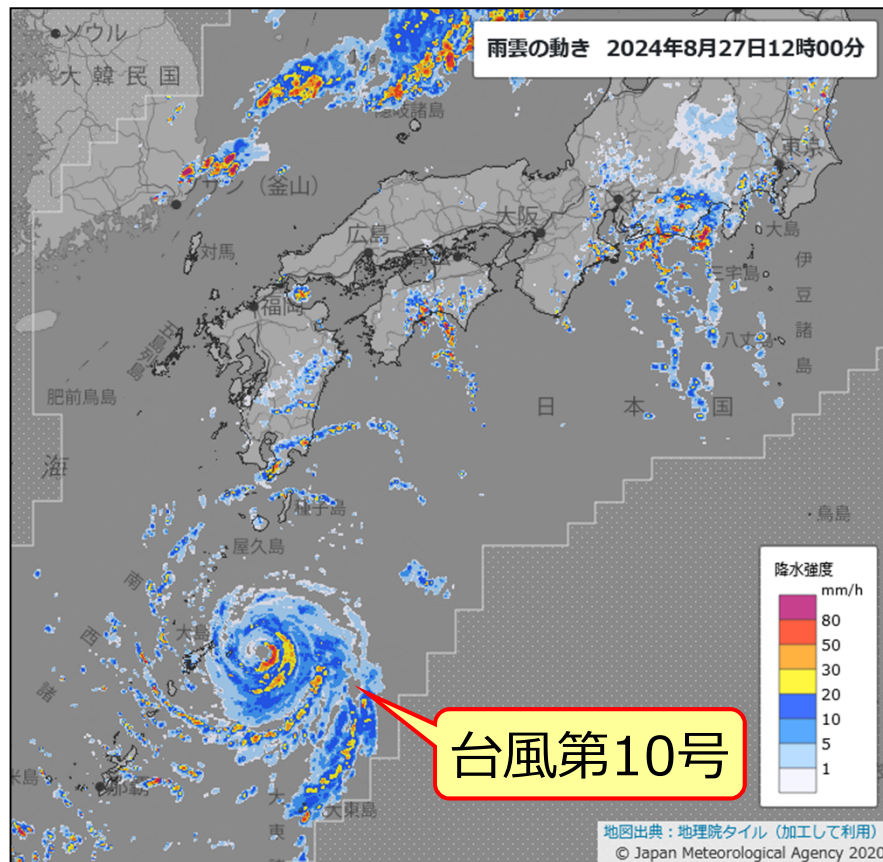
この資料は、8月27日14時開催の説明会時点の予想に基づいて作成したものです。

このため、最新の気象情報は気象台ホームページでご確認ください。

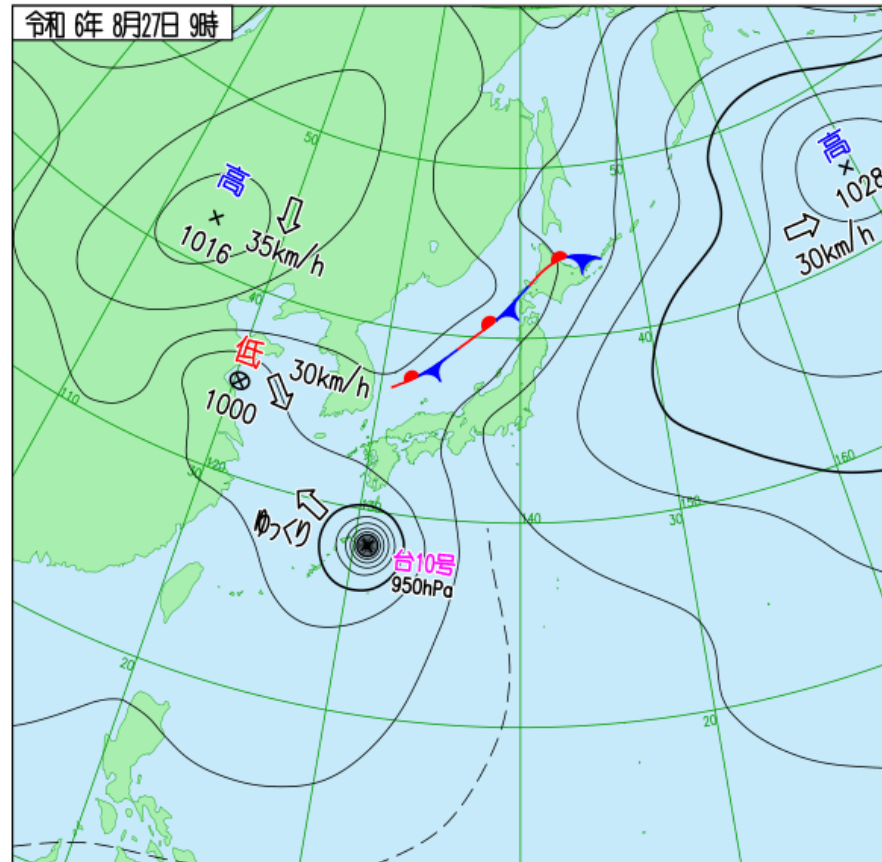
衛星画像 27日12時



レーダー・ナウキャスト 降水強度 27日12時

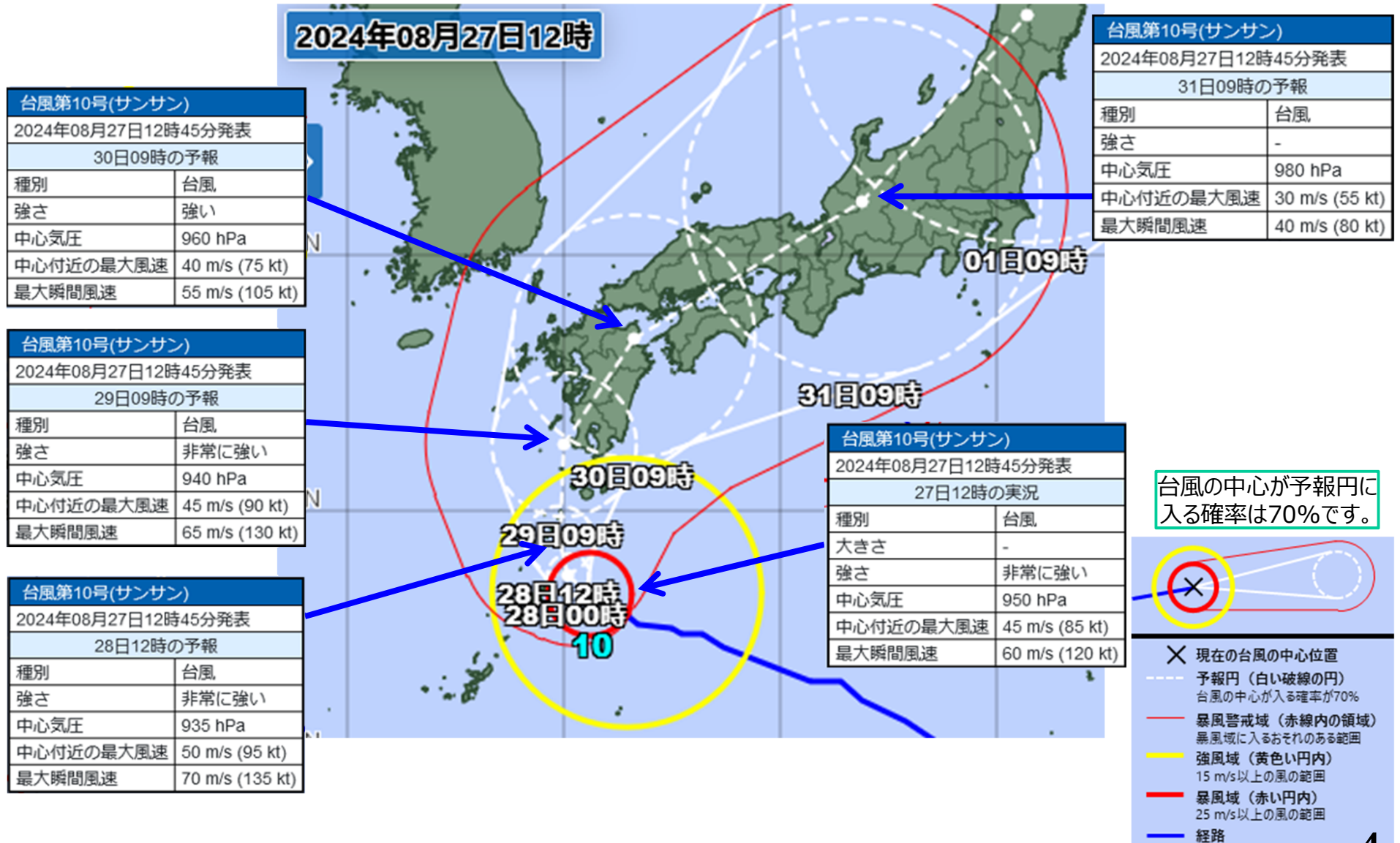


地上天気図 27日9時



台風経路図（27日12時の位置と進路予報）

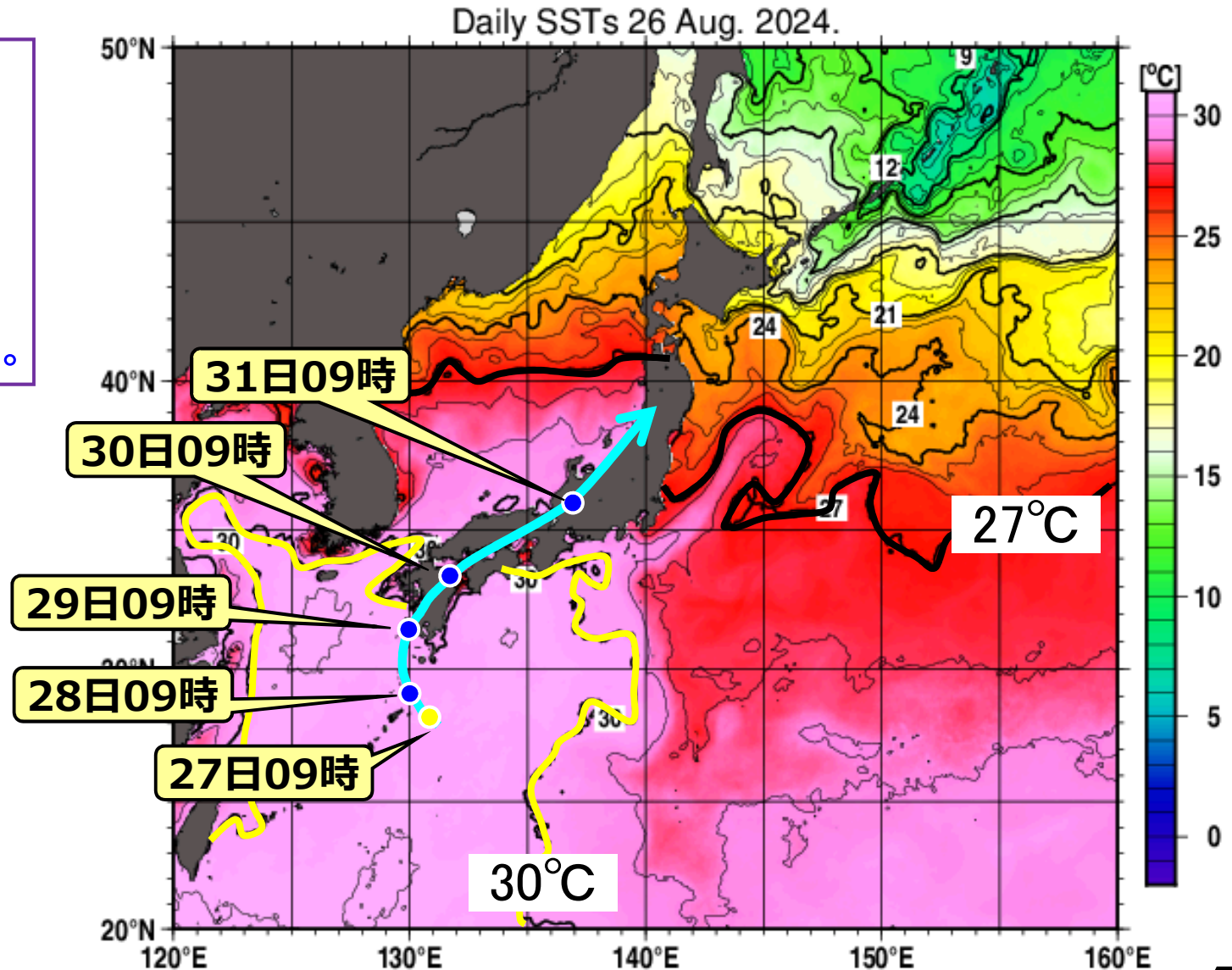
最接近：30日日中



日本近海 日別海面水温

8月26日

・台風は、28日にかけて海面水温が高い海域を進むため、非常に強い勢力を維持して九州に接近する見込み。



台風第10号の特徴と愛媛県への影響 令和6年8月27日

1. 非常に強い台風第10号は、27日12時現在、奄美市の東約110キロをゆっくりした速さで西北西へ進んでいる。今後、台風は北上して九州へ進み、30日頃に愛媛県に接近する見込み。
(27日12時予想の中心を通るコースでは、**愛媛県への最接近は30日 日中**)
2. 台風の動きが遅く影響が長引くおそれがある。また、進路予想に幅があり、予報円の中心と周辺では影響が大きく異なる。
3. 四国の南東斜面を中心に降水量が多くなり、愛媛県では県境の山地を中心に降水量が多くなる見込み。台風本体の雨雲がかかれば短時間強雨の可能性も高くなり、総降水量も多くなる。
 - ・令和6年4月17日の豊後水道の地震で揺れの大きかった地域では、地震前と比べて、少ない雨でも土砂災害が起こりやすくなっている。
 - ・愛南町、宇和島市では、大雨警報・注意報および土砂災害警戒情報の土壌雨量指数基準を通常より引き下げた暫定基準で運用している。

『防災事項』

- 【大雨】台風本体や周辺の雨雲により、28日から警報級の大雨となる可能性があり、29日と30日は警報となる見込み（大雨警報（土砂災害・浸水害）、洪水警報）。
- 【暴風】台風接近に伴い次第に風が強まり、29日と30日は暴風警報となる見込み。
- 【高波】中予東予は、29日午後から警報級の高波となる可能性があり、30日は警報級の高波となる見込み。南予では、28～30日にかけてうねりを伴ったしけ、または大しけとなる見込み（警報）。
- 【高潮】台風の接近に伴い潮位が高くなり、30日と31日は警報級の高潮となる可能性がある。
- 【竜巻】28日朝から竜巻などの激しい突風のおそれがある。

★**暴風、うねりを伴った高波、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒。**
高潮に十分注意。落雷、竜巻などの激しい突風に注意。

終了